

美多羅志神社

子どもが生まれて百日後に、母親が浜から十二個の白い石を集め、新生児を連れてそれを神社に持っていくのが地元の習わしです。持っていった石は神社の敷地に敷かれます。そのため、神社に足を踏み入れる前には靴を脱ぐことになっています。別の習わしは、生まれてくる子どもが健康で美しい目に恵まれるよう、カップルが雌雄一対のアワビを神社に奉納することです。また、神社の参道沿いに、龍の形をしたユニークな木があります。